

(様式1)

平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
海王丸パーク及び富山新港臨海野鳥園 港湾課

2 施設所在地  
射水市海王町8番地

3 施設設置年度  
平成4年度

4 設置目的  
【海王丸パーク】  
「日本海ミュージアム構想」の中で、帆船海王丸を中心に、人と海とがふれあえる体験パークとして位置づけられた中核施設。  
【富山新港臨海野鳥園】  
「日本海ミュージアム構想」の中で海や自然とのふれあいの場を提供するため造成され、池や樹林地などの恵まれた環境に、四季を通じて多くの鳥たちが飛来し、野鳥の自然な姿を観察することができる。

5 施設概要  
【海王丸パーク】  
敷地面積：約9.6ヘクタール  
主な施設：緑のパーゴラ…鉄骨造2F建 1819.21㎡  
休憩所…鉄筋コンクリート造1F建 108.71㎡  
ラジコン広場…3020㎡  
【富山新港臨海野鳥園】  
敷地面積：約4.6ヘクタール  
主な施設：観察センター…鉄筋コンクリート造2F建 346.46㎡  
観察小屋…(東)木造1F建 41.4㎡ (西)木造1F建 42㎡

6 指定管理者  
公益財団法人伏木富山港・海王丸財団

7 指定期間  
5年  
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

【海王丸パーク】

H26	H27	H28	H29	H30
997,800	1,075,300	1,023,700	987,300	1,178,900

【富山新港臨海野鳥園】

H26	H27	H28	H29	H30
4,160	4,130	4,310	4,460	3,450

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H26	H27	H28	H29	H30
—	—	—	—	—

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H26	H27	H28	H29	H30
—	—	—	—	—

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

平成26年度には海王丸パーク内に係留されている帆船海王丸のライトアップが始まっており、今後とも立地条件を活かしたイベントの実施や広報、旅行代理店等への営業に努めてもらいたい。

海王丸パークは屋外施設が主となるので、利用者数は天候によっても大きく変わる。平成29年度は荒天が多く利用者数は減り、平成30年度は好天に恵まれたため利用者数は増えた。

野鳥園の利用者については、平成30年度は野鳥解説日を月平均8回から6回に減らしたために減少したと考えられる。

### (2) サービス向上に向けた取組み

- ・年間を通しての自主イベント開催や各種団体と連携協力したイベントの実施及び誘致
- ・イベントチラシやイベントスケジュールの作成配布、新聞広告、情報誌、ホームページの掲載等によるイベント情報の発信
- ・ホームページ及びフェイスブックの充実、積極的な情報発信
- ・平成30年度に帆船海王丸船内の3D映像、VR映像の公開を開始し、最新技術を活用して情報発信した。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・ホームページ、フェイスブック、イベント情報ページでの情報発信
- ・新聞広告、各種タウン情報誌、旅行雑誌への情報掲載やテレビ番組へ出演する等のイベントのPR
- ・テレビ番組撮影や雑誌取材の積極的な受け入れ
- ・平成30年度には展望広場の供用が開始

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	海王丸来場者を対象にアンケートを実施（9月22, 23日）
回答者数	47人
結果	家族連れでの来場が約77%を占めている
結果を踏まえた改善事項	景観・雰囲気、施設の充実については満足度が高く、それに対して情報案内については不満足割合がやや高い結果となった。今後は新幹線の停車駅からのアクセス方法をホームページ等に記載する等イベント以外の情報案内も行いたい。また、今後も海王丸パーク・野鳥園の魅力増進を図り、効率化を高めつつ利用者に満足してもらえるような運営を行っていく。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

帆船ボランティアとの意見交換

#### ③ 主な苦情と対応

なし。

### (5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

### (6) 関係団体との連携

射水市や射水市観光協会、各種団体と連絡・情報交換を密にし、各種イベントを海王丸パークへ誘致した。

(7) 施設・設備の維持管理

適正に管理されている

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・週1回以上のパトロールの実施、また、台風や強風の翌日は必ずパトロールを実施。
- ・職員及び専門業者によるパーク内の遊具の安全点検や修繕工事。
- ・平成30年度完成した展望広場において、当初2か月間は常駐警備を実施、注意報発令時は出入り口を閉鎖。
- ・新湊消防署と合同で避難訓練の実施。(海洋教室で海王丸に宿泊していた小学生も参加)
- ・非常時緊急連絡網の整備。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・今後も経費削減を念頭に、財団職員で実施できる業務がないか等、再点検するとともに、利用者への更なるサービス向上に努めた運営を行っていく必要がある。
- ・利用者数増加のため、各種イベントの開催やインターネットを使った情報発信に積極的な取り組みが認められ、平成30年度にはこれまで以上に県内外に広く帆船海王丸の魅力を発信する冊子を制作した。今後も魅力増進を図り、更なる賑わいを創出できるよう、引き続き海王丸パーク及び野鳥園の広報の充実に努めてもらいたい。
- ・平成4年の海王丸パークオープンから20年以上が経過し、施設の老朽化が著しいため、今後、修繕費の増加が懸念されるが、利用者の安全を最優先に、優先順位をつけて計画的に修繕を実施しつつ、都度見直し、柔軟に対応していくことが必要である。